



今回の紹介地区 No.071 広島県 大崎上島町 中野鷺野地区

耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例

状況

地区概要: 農地面積 1.5ha、うち耕作放棄地 0.6ha

放棄の理由: 高齢化による労働力不足

荒廃の程度: 灌木が生茂っているため、チェンソーによる伐採作業や抜根作業が必要

取組概要

対象面積: 0.24ha(畠)

実施期間: 平成21年12月1日～平成22年1月14日

取組のきっかけ: 親戚の荒れた農地を再生し、柑橘栽培を考えていた新規就農希望者が、地域協議会に相談したところ、担当者が本対策を紹介、取り組みが具体化

調整経緯: 新規就農者と農業委員が土地所有者と調整を行い実施

取組主体: 新規就農者 (予定作物: レモン)

作業内容: 伐採、刈り払い・耕起・整地、土壤改良、苗木移植

今後の予定

平成21年12月～平成22年1月に再生作業、土壤改良、営農定着を実施。地域ではレモン等の柑橘栽培が盛んなことから、販売ルートは確立されており、生産量を拡大し農業経営の安定化を図る予定



再生作業前

